

実地研修開催にあたってのお願い

当施設は入所定員 100 名（一般棟 54 名、認知症専門棟 36 名、ユニット型個室 10 名）、通所リハビリ定員 32 名であり、支援相談員 5 名、施設介護支援専門員 2 名体制にて、在宅支援・在宅復帰を行っています。

私たち老健施設は、地域包括ケア・地域包括医療病棟との差別化を図るためにも、より在宅支援・在宅復帰に実直に取り組んでいかなければいけません。しかしながら、近年はサービス付き高齢者向け住宅や住宅型有料老人ホームの急増など社会資源が増えたことで、在宅支援・在宅復帰に注力すると、空床が発生しやすいといった課題も顕在化しています。また、独居世帯、高齢者世帯および認知症患者の増加、さらには家族の介護力の低下など、本来の在宅支援・在宅復帰が今まで以上に困難になっている状況があります。このような中で、家族支援や地域のインフォーマルサービスの活用など、課題は多く、当施設も暗中模索、試行錯誤を重ねながら歩みを進めております。

当施設では、平成 19 年より専門実技習得コースの実地研修を担当し、多くの老健勤務の皆さまと老健の質や利用者の QOL を高めたいという思いを共有し、情報交換を行ってきました。令和 7 年度より「在宅復帰・在宅支援」へテーマは変わりましたが、老健施設における在宅支援・在宅復帰の理想的なあり方やその実現に向けてできることを皆様と意見を交わしながらともに考えていけることを心から楽しみにしております。また、研修全般を通して、幅広く意見交換し、同じ志を持つ仲間づくりや、施設を超えた情報共有の場としても、有意義な機会となることを期待しております。

そこで、研修を効率よく進め、より有意義なものとするために、受講が決定された方に対して、事前に所属される施設の特色などについて伺い、互いに施設の背景がわかったうえで意見交換が行えるようにしていきたいと考えております。受講決定後、決定の通知・詳細とともに事前アンケートの送付を予定しております。その際にはご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

介護老人保健施設アルボース

相談室長

大塚 彰太